



2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年11月14日

上場会社名 株式会社サイバーセキュリティクラウド 上場取引所 東
 コード番号 4493 URL <https://www.csccloud.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 小池 敏弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 倉田 雅史 TEL 03(6416)9996
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年12月期第3四半期の業績（2022年1月1日～2022年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|----------------|-------|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年12月期第3四半期 | 1,626 | - | 258 | - | 276 | - | 217 | - |
| 2021年12月期第3四半期 | - | - | - | - | - | - | - | - |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期第3四半期 | 23.20 | 22.89 |
| 2021年12月期第3四半期 | - | - |

（注）2021年12月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、2022年12月期第2四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2021年12月期第3四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年12月期第3四半期 | 2,048 | 1,215 | 58.8 |
| 2021年12月期 | 1,581 | 937 | 59.2 |

（参考）自己資本 2022年12月期第3四半期 1,205百万円 2021年12月期 936百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年12月期 | - | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 |
| 2022年12月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 2022年12月期（予想） | - | - | - | 0.00 | 0.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|---|------|---|------|---|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,233 | - | 362 | - | 362 | - | 271 | - | 28.88 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2022年4月1日付で連結子会社である株式会社ソフテックを吸収合併いたしました。当合併により連結子会社が無くなることから、2022年12月期（通期）は個別決算による開示となりますが、通期業績予想の対前期増減率は、比較対象が異なるため記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 5 「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 5 「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2022年12月期3Q | 9,410,244株 | 2021年12月期 | 9,373,344株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年12月期3Q | －株 | 2021年12月期 | －株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2022年12月期3Q | 9,389,735株 | 2021年12月期3Q | 9,336,814株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期損益計算書 | 4 |
| 第3四半期累計期間 | 4 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 5 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 5 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 5 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 5 |
| (会計方針の変更) | 5 |
| (セグメント情報等) | 5 |
| (収益認識関係) | 5 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社は、2022年4月1日付で当社の完全子会社である株式会社ソフテック（以下「ソフテック」）を吸収合併（簡易合併・略式合併）したことに伴い、第1四半期累計期間まで連結決算でありましたが、第2四半期累計期間より非連結決算へ移行いたしました。前第3四半期連結累計期間において四半期連結財務諸表を作成していましたが、上記により当第3四半期累計期間においては四半期連結財務諸表を作成していないため、比較分析は行っておりません。

当社が属するサイバーセキュリティ業界を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、ウクライナ情勢の悪化に伴い、先行きが不透明な状況が続いております。依然として、脆弱性を突いたサイバー攻撃は後を絶たず、不正アクセスによる個人情報の漏えいだけでなく、業務停止による被害拡大など、サイバーセキュリティ対策の重要性が益々高まっております。このような状況の中、当社は「世界中の人々が安心安全に使えるサイバー空間を創造する」という経営理念を掲げ、サイバーセキュリティに関する社会課題を解決し、社会へ付加価値を提供すべく事業に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間において、当社の主力サービスであるクラウド型WAF「攻撃遮断くん」と「WafCharm」のユーザー数が順調に増加したことにより、売上が拡大いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間の当社の経営成績は、売上高1,626,229千円、営業利益258,473千円、経常利益276,151千円、四半期純利益217,848千円となりました。

また、4月のソフテックの吸収合併による非連結決算への移行に伴い、上記の業績には第1四半期会計期間のソフテックの業績は含まれておりません。

参考情報として、上記の業績にソフテックの第1四半期会計期間の業績を加え、連結決算を継続していたと仮定した場合の売上高は1,692,298千円、営業利益286,302千円、経常利益300,678千円、四半期純利益216,080千円となりました。

なお、当社はサイバーセキュリティ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,518,806千円となり、前事業年度末に比べ534,191千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が441,438千円増加したことによるものであります。固定資産は529,670千円となり、前事業年度末に比べ67,320千円減少いたしました。これは主に無形固定資産が276,321千円増加した一方で、投資その他の資産が399,661千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,048,477千円となり、前事業年度末に比べ466,870千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は624,715千円となり、前事業年度末に比べ185,101千円増加いたしました。これは主に契約負債（前受金）が105,668千円増加したことによるものであります。固定負債は208,000千円となり、前事業年度末に比べ3,601千円増加いたしました。これは長期借入金が3,601千円増加したことによるものであります。なお、「2. 四半期財務諸表及び主な注記（3）四半期財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」に記載の通り、収益認識会計基準等を適用したため、前事業年度の貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受金」は、第1四半期会計期間より「契約負債」として表示しております。

この結果、負債合計は832,715千円となり、前事業年度末に比べ188,702千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,215,762千円となり、前事業年度末に比べ278,167千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が217,848千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、第2四半期決算より非連結決算に移行いたしました。なお、2022年12月期の通期の業績予想につきましては、2022年8月12日に公表いたしました「特別利益の計上および2022年12月期個別業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2021年12月31日) | 当第3四半期会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 796,741 | 1,238,179 |
| 売掛金 | 138,278 | 198,496 |
| その他 | 49,596 | 82,130 |
| 流動資産合計 | 984,615 | 1,518,806 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 2,832 | 58,851 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | - | 208,932 |
| その他 | 5,247 | 72,635 |
| 無形固定資産合計 | 5,247 | 281,568 |
| 投資その他の資産 | 588,912 | 189,251 |
| 固定資産合計 | 596,991 | 529,670 |
| 資産合計 | 1,581,607 | 2,048,477 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 37,471 | 41,507 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 61,884 | 95,208 |
| 未払法人税等 | 61,913 | 61,897 |
| 前受金 | 73,867 | - |
| 契約負債 | - | 179,536 |
| 賞与引当金 | - | 15,979 |
| その他 | 204,477 | 230,585 |
| 流動負債合計 | 439,613 | 624,715 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 204,399 | 208,000 |
| 固定負債合計 | 204,399 | 208,000 |
| 負債合計 | 644,012 | 832,715 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 388,906 | 414,553 |
| 資本剰余金 | 379,906 | 405,553 |
| 利益剰余金 | 167,387 | 385,236 |
| 株主資本合計 | 936,201 | 1,205,342 |
| 新株予約権 | 1,392 | 10,419 |
| 純資産合計 | 937,594 | 1,215,762 |
| 負債純資産合計 | 1,581,607 | 2,048,477 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 当第3四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日) |
|------------|---|
| 売上高 | 1,626,229 |
| 売上原価 | 476,579 |
| 売上総利益 | 1,149,649 |
| 販売費及び一般管理費 | 891,176 |
| 営業利益 | 258,473 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 9 |
| 為替差益 | 15,041 |
| 経営指導料 | 3,303 |
| その他 | 703 |
| 営業外収益合計 | 19,058 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 1,357 |
| その他 | 23 |
| 営業外費用合計 | 1,380 |
| 経常利益 | 276,151 |
| 特別利益 | |
| 資産除去債務戻入益 | 13,500 |
| 抱合せ株式消滅差益 | 21,336 |
| 特別利益合計 | 34,836 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 425 |
| 特別損失合計 | 425 |
| 税引前四半期純利益 | 310,561 |
| 法人税等 | 92,712 |
| 四半期純利益 | 217,848 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月27日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行12,500株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ12,881千円増加しております。

また、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ12,765千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が414,553千円、資本準備金が405,553千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当第3四半期累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前事業年度の貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受金」は、第1四半期会計期間より「流動負債」の「契約負債」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、サイバーセキュリティ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

当社の主たる事業のサイバーセキュリティ事業において、顧客との契約から生じる収益は、大部分が一定の期間にわたり顧客に移転されるサービスから生じる収益であり、一時点で顧客に移転されるサービスから生じる収益の重要性はございません。

よって、開示の重要性が乏しいため、顧客との契約から生じる収益を分解した情報の記載は省略しております。